



◇ おもしろ がいらいご 面白い外来語 ◇

どんな言語でも、外国から来た言語（外来語）はあります。日本語の外来語の特徴は、いつもカタカナで表現することです。そのため、カタカナで書くものは全部英語だと、勘違いする人も少なくありません。しかし、日本語にはオランダ語、ポルトガル語のほかに、色々な言語からの外来語があります！その一部を紹介합니다。

イクラ — 一見日本語のようですが、実はロシア語です！この言葉は、明治時代に日本に入ってきたようです。鯡の子が「イクラ」という名前になった理由は、北海道産の鯡の子をブランド化するためでした。ロシア語も日本語も「イクラ」は同じ意味で使われています。

バイキング — 食事の「バイキング」は、英語では「ブッフェ」と言います。英語で「バイキング」と言えば、北欧ヨーロッパの海賊を意味します。なぜ、「バイキング」が日本では英語の「ブッフェ」の意味で使われているのでしょうか？1958年に上映されたカーク・ダグラス主演の「バイキング」という海賊映画で、船上で食べ放題、飲み放題のシーンがありました。それをヒントに、東京の帝国ホテルで食べ放題のプランを作り、料理名を「バイキング」としました。

ズボン — 「ズボン」の言葉の由来は、正確にはわかりませんが、フランス語の「ジュボン」（スカートの下に履くペチコートの意味）から来たという説もあります。ちなみに、英語で「パンツ」というと意味は下着ではなくて、日本語の「ズボン」です。なぜか日本語では、下着とその上に履くものが反対になって伝わってしまったようです。

マンション — 日本語の「マンション」は、イギリス英語から来ました。しかし、アメリカでは、「マンション」は屋敷と言う意味です。日本語の「マンション」は、アメリカ英語では、「アパート」と言います。日本人の友達はずごくお金持ちだと勘違いしている外国人は、少なくないと思います。

カチューシャ — この言葉は、ロシア語が語源で、少し変わった形で日本語になりました。大正時代、日本でトルストイの小説「復活」の芝居の「カチューシャの唄」という曲が流行りました。登場人物に「カチューシャ」という名前の大変人気があった女性がいて、その女性が髪飾りをつけていました。その髪飾りが、「カチューシャ」と呼ばれるようになりました。

— ジェニファー・ワード

◇ せかい いちばんこくさいてき まち 世界で一番国際的な街 ◇

「世界で一番国際的なところ」と言えば、みなさんはどこを思い出しますか。もちろん、世界各地から多くの観光客が訪れるニセコも国際的な町ですが、私が今まで訪れた中で一番国際的な都市は、アメリカのニューヨークでした。

私がニューヨークを訪れたのは、2011年の夏でした。大学の最後の夏休みを楽しむために、一人で15日間アメリカへ旅行に行きました。15日間のうち、約1週間をニューヨークで過ごしながら、私は「これ以上国際的な街はどこでもない！」とおもいました。

ニューヨークでは、世界各国の文化を満喫することができます。私がニューヨークにいるときに、一番よく食べたものは、「ジェラート」と呼ばれるイタリアのアイスクリームでした。私が、イタリアにいた時によく行っ



ニューヨークのメトロポリタン美術館

ていた「GROM」というジュラートの店舗がニューヨークにもありました。(ちなみに、このお店は東京にもあります。お勧めなので、機会があれば是非召し上がってみてください!) また、日本のラーメン屋、メキシコ料理店、ギリシャのチーズなど、世界各国の料理を手軽に安く食べることが出来ました。

また、世界の歴史や文化を感じることも出来ます。ニューヨークを代表する「メトロポリタン美術館」には、時代と国境を越えた素晴らしい美術作品があります。私がメトロポリタン美術館を訪れた時には、イギリスの有名なファッション・デザイナー「アレキサンダー・マックイーン」の特別展示会が開催されていました。この展示会は、彼が2010年に亡くなった後、最初で最後に開かれたものでした。(2013年3月現在まで、彼の展示会はニューヨーク以外の世界中どこでも開かれていません。) 多くの方がこの展示会を見るためにニューヨークを訪れ、最大4時間以上待った人もいたそうです(私も1時間くらい並びました)。私は、アレキサンダー・マックイーンの展示会を見て、彼のデザイン感覚や素晴らしいファッション・ショーの演出に驚きました。そして、「これこそまさにニューヨークだな!」と感じました。アレキサンダー・マックイーンは、イギリス人で誰よりも母国を愛する人だったそうです。しかし、ファッション界での彼の業績を認め、展示会を開いたところはイギリスではなく、ニューヨークでした。国籍や外見に関係なく、その人の能力や性格そのものだけで人の評価するところが、ニューヨークです。

ニューヨークには、世界各国からの来た人たちが住んで働いています。ニューヨークに住んでいる人たちは、韓国人や日本人としてではなく、ニューヨーカーとして生活していました。私もニューヨークにいたその1週間だけは、韓国人ではなくて、ニューヨーカー・権珠賢としてすることができました。国籍が無意味になるニューヨークこそ、世界で一番国際的な街ではないかと思いました。皆さんもし休暇が取れば、ニューヨーカーになって、素敵な時間を過ごしてみるのはいかがでしょうか。

権珠賢

◇ラインハート・アートバーグの作品展示会と交流会◇

平成25年2月17日の午後に、町民センターでオーストリアのアーティスト、ラインハート・アートバーグさんとの交流会が開催されました。アートバーグさんはオーストリア、フランスとイタリアに家があります。奥さんは日本人で、奥さんの家族に会うために、2年に一回程度日本を訪問するので、日本になじんでいるようでした。交流会では、コーヒーを味わい、アートバーグさんと話をしながら、作品を鑑賞し、ゆったりとした時間を過ごすことができました。アートバーグさんは、日本語を話しません、ニセコ町の国際交流員と奥さんの通訳を通じて、ニセコ町民や地域のアーティストたちと交流しました。展示されているオブジェは、自由に触れて形を変えることが可能です。作品の名前は、「Meeting」(会う)と言い、町民センター内での人と人の出会いをイメージして作られたものです。このオブジェは、参加者の話のきっかけとなり、まさにイメージ通りの役割となっていました。絵、リトグラフとオブジェの作品展示会は、3月3日(日)まで町民センターの2階で開催されています。

◇国際交流員による世界に出会える文化イベントその5:面白い中国の漢方医薬◇

平成25年2月16日に、あそぶっくで国際交流員柯逸逸さんによる漢方医薬についての文化イベントが行われました。漢方に、どのような薬が使われているのかだけでなく、漢方の医者がどのように診断をするのかなどについて語りました。柯さんの経験談をまじえた話から、中国で実際に使われている漢方をわかりやすく知ることができました。病気のときに漢方の薬を飲むだけではなく、毎日食べる料理にも取り入れることにより、健康を目指すのが漢方医学です。

しかし、漢方は科学的に研究されてきたものではなく、伝統的に伝わってきた知識です。薬の効果がはっきりとわからない場合があります。漢方医薬とは、主に風邪などの軽い病気に向いています。状況に応じて、西洋医学と漢方医学を両方使うのが賢明だということを学びました。

問い合わせ: ニセコ町国際交流推進協議会 (ニセコ町役場企画環境課)

担当: ウォード、福井 TEL:0136(44)2121 E-mail: kikaku@town.niseko.lg.jp